

【12月18日(木)開催】令和7年度広田地区市政懇談会要望等への回答

1 事前要望について

No.	項目	意見・要望等	市の回答	担当課
1	居住環境の保全について	耕作放棄地や空き家は、居住環境を悪化させる大きな要因となりつつあります。行政としての対策および実施を考えているか？	耕作放棄地の除草については、適正な管理を所有者にお願いしております。 空き家に関しては、今年度市内全域を対象とした実態調査を行っており、管理不全な状態の空き家の実態把握に努めております。 所有者や相続者が判明している場合には、その方々に空き家の管理をしていただくこととなりますが、市といたしましては、管理不全な状態の空き家とならないよう、普及啓発に努めて参ります。	農業委員会 農林課 住宅政策室
2	地域交付金の給付額について	地域交付金はコミ協毎に500万円という金額上限があると聞いたが、これでは人口や世帯数が少ない地区が厚くなっている。世帯数あるいは人口に応じた金額の考え方を取り入れる考えはないか？	地域交付金は、令和元年度の制度施行から現在まで、全ての地区においてほぼ満額を活用いただいている状況です。 一律であれ、世帯数割・人口割、いずれの算定方法であっても、全ての地域で画一的ではないと理解しております。 令和5年度にも同様のご要望をいただいており、各地区における活用率等を勘案しながら見直しの検討を行う旨回答させていただきましたが、令和5年度以降も各地区においてほぼ満額を活用している状況ですので、一律制を継続して参ります。	まちづくり推進課
3	小学生通学路の安全（歩道設置）について	小学生通学路のうち、野活ランド下から平畑・蒲田あたりまでは、特に交通量も多く、通学する児童数も多いので、特に歩道を設置してほしい箇所です。	用地の関係上、道路全体の拡幅は難しい状況です。 地域の皆様のご了承をいただけるのであれば、車道の幅員を狭めて歩行者の通行スペースを確保する、という方法により、整備することは可能です。	建設課 学校教育課
4	高齢者の交通面の確保について	路線定期バスも大事ではあるが、免許返納後のタクシー補助券も非常に助かっておりますが、補助券の増額はできないか。	タクシー券につきましては、現在の利用状況やタクシー料金の動向を考慮しながら、検討して参ります。	福祉課
5	少子化対策・Uターン・Iターンの支援、若者の働く場所出合いの場の創造などについて	小学校を現在より減らさないこと、転入移住者への住宅支援を考えていく必要があるのではないかと？	【小学校について】 今年度は、高田小学校を含めた東側4校の、それぞれの保護者や地域の方々を対象に、小学校の今後の在り方に係る懇談会を開催する予定としております。 今後、地域の皆様からのご意見等を伺いながら、広田小学校の在り方についても、検討を進めて参ります。 【転入移住者への住宅支援について】 移住者向けの住宅支援制度として最大100万円、子育て世帯に対しては最大200万円の助成を行っており、年間約200件程度の交付実績がございます。 今後も制度周知を図って参ります。	学校教育課 交流推進課

No.	項目	意見・要望等	市の回答	担当課
6	<p>集団お見合い的な事は、できないか</p>	<p>若者の出会いの場が少ないように思われますので、何か交流の場をセッティングできないものか？（40才台、50才台になっても一人身の方がいて、奥手のほうが多いように思います。（アイデア募集してみたりして欲しい。）</p>	<p>本市では、岩手県が主催する婚活イベントが、令和5年度から継続して開催されており、市街地やワタミオーガニックランドなどを会場に、多くの方に参加していただき、令和6、7年度のイベントについては当初の定員よりも多くの方に参加していただいております。</p> <p>ぜひこのような機会をご活用いただくとともに、イベントの開催案内等についても、周りのご友人や知人の方々へ向けて広く周知いただくなど、ご協力いただければと考えております。</p> <p>また、本市では結婚を希望される独身男女の皆さまの出会いを継続的にサポートするため、岩手県、市町村、そして民間団体などが連携して運営する婚活支援サービス「i-サポ」の登録料を補助しておりますので、これらのイベントや支援サービスを積極的にご活用ください。</p> <p>併せて、ご意見をいただいております市民の皆様からの意見募集の方法についても検討してまいります。</p>	<p>企画政策課</p>
7	<p>子どもの心の平和について</p>	<p>子どもたちに幸せになってほしいので、困っている事の聞き取りや、駆け込み寺的な所など施設又は避難場所はあるのか？</p> <p>又は、「必要ない状態なのか？」・「子供が大人を介護していないか？」など、市では、調査を行ったりしているのか？</p>	<p>市内小中学校において定期的にアンケートを行い、いじめや困っていることがないかを把握しております。</p> <p>訴えがある児童生徒には、教員やスクールカウンセラーが聞き取りを行っております。</p> <p>子どもが保護や避難を希望していたり、子どもが家庭の中で大人の役割を担い子どもらしい生活ができない状態になっている場合は、子ども未来課や児童相談所が窓口となり、子どもの意向や家庭の状況を確認し、在宅支援がよいか一時保護や施設入所が必要か等を検討した上で、必要な支援を行っております。</p> <p>直接的な調査は行っておりませんので市内の傾向としては把握しておりませんが、子どもからの訴えや関係機関のネットワークにより困っている子どもや家庭を把握し、個別具体的な支援を行っております。</p> <p>心配なお子さんやご家庭がある場合は、子ども未来課までご相談ください。</p>	<p>子ども未来課 学校教育課 福祉課</p>

2 事前要望に関連した追加の要望について

No.		事前要望に関連した追加要望等	市の回答	担当課
1		<p>地域活性化補助金について、来年度以降も続くのかどうかご教示いただきたい。</p> <p>地域として活用する機会が多いため、引き続き補助金を交付いただきたい。</p> <p>要望であるが、「補助金の交付について来年は無し」という風に急に打ち切るのではなく、「2～3年後に補助を打ち切る見込みである」といった風にあらかじめ通知いただきたい。</p>	<p>少なくとも令和8年度予算には計上する予定ですが、それ以降については、不確定な部分が多いため、明確にお答えすることは難しい状況にあります。</p> <p>引き続き検討を進めて参ります。</p>	まちづくり推進課
2		<p>転入者や移住者について、広田地区は公営住宅の利用率や空き家の活用率が他の地区と比較すると低いように感じる。</p> <p>当市にやってきた転入者や移住者について、空き家などを活用いただいて、地域の活性化につなげられないかと考えている。</p>	<p>【住宅政策室からの回答】</p> <p>公営住宅の利用率について、入居にあたって所得制限等の条件は揃っております。</p> <p>しかし、その条件を満たしていれば転入者・移住者を問わず入居を受け付けているため、ご不明点灯は適宜お問い合わせください。</p> <p>なお、比較的安い料金で公営住宅を利用できる「おためし居住」などの制度も設けており、現在市内では6人ほどに利用いただいているため、引き続き制度の周知啓発に努めて参ります。</p> <p>空き家に関しては、空き家バンク等の運営により利活用を促進しておりますが、内装が気に入らない、間取りがいまいち、といった理由により需要と供給がうまくマッチングしていない状況にあります。</p> <p>現在市で行っている空き家調査の結果を踏まえて、今後活用できる空き家や、活用が難しい空き家を把握し、今後の検討材料といたします。</p> <p>【交流推進課からの回答】</p> <p>移住者向けの住宅支援制度として最大100万円の商品券等を設けておりますが、新築住宅に限らず、空き家の修繕や改修にも利用することができるため、併せて周知を進めて参ります。</p>	住宅政策室 交流推進課
3		<p>行政連絡員について、つい最近行政区長から行政連絡員へ名称が変更されたようだが、具体的に業務内容などどう変わったのか。</p>	<p>【総務課からの回答】</p> <p>ご指摘の通り、行政区長から行政連絡員へ名称が変更されました。</p> <p>それに伴い、業務内容にも多少の違いがございますが、基本的には月に2回、市から配布する行政連絡文書を全戸へ向けて配っていただくことが主たる作業です。</p> <p>【住宅政策室からの回答】</p> <p>空き家調査のアンケートについても、行政連絡文書の配布に合わせて協力いただいております。</p> <p>また、行政連絡員の方に担当地区の地図をお渡しし、把握している空き家情報についてチェックいただくなどの協力をいただいております。</p>	総務課 住宅政策室
4		<p>移住者向けの住宅支援制度として最大100万円の商品券を配布しているとの制度説明があったが、広田地区においてその制度を利用した実績はあるか。</p>	<p>資料を持ち合わせていないため明確にお答えすることはできかねますが、広田地区における高校生や大学生等の受け入れ率の高さ、NPO法人SETが行っている事業等々から鑑みても、広田地区においても実績はあったように把握しています。</p>	交流推進課

No.		事前要望に関連した追加要望等	市の回答	担当課
5		<p>高田町における100万円の商品券と、広田町における100万円の商品券ではその価値が違っていると考えている。もう少し補助や支援をすることはできないか。</p>	<p>ご指摘いただいた件は議会等でも議論されており、制度の中身を年々改善しております。</p> <p>すぐに対応できるものではないが、地域住民の方の意見や制度を利用したことのある移住者等の意見を取り入れながら、更に充実した制度として参ります。</p>	交流推進課
6		<p>移住者や転入者への関わり方について、当市に移住または転入し、空き家を購入して住み始めたものの、市の広報もいらないなどとして地域コミュニティと関わらない方が多い。</p> <p>空き家を進める時点で何かしら伝えるなど、具体的な取り組みはしているか。</p> <p>要望であるが、公民館費を払いたくない、税金は納めているので問題ないと言われてしまうこともあったので、移住者や転入者への教育、指導を徹底していただきたい。</p>	<p>地域コーディネーターによる田舎の暮らしや陸前高田市での暮らしの紹介を実施しております。</p> <p>都会から当市にお越しいただき、慣れない環境の中での暮らし方を模索している方も多いため、地域のコミュニティに所属し、地域を形成する一員となることの重要性について、引き続き伝えて参ります。</p>	交流推進課

3 事前要望以外の追加の要望について

No.	追加要望等	市の回答	担当課
1	<p>生活支援相談員制度について、生活支援相談員の方には、広田町における各団体等の定例会などに出席いただいているところであるが、令和8年度末で国の予算措置が終了することとなっている。</p> <p>南三陸町では町の予算で生活支援相談員制度を継続することだったが、当市ではどうか。</p>	<p>ご指摘の通り復興交付金を利用して生活支援相談員制度を運用しております。</p> <p>令和8年以降については、国から明確な回答がなく、具体的に何が継続され何が終了するのかわからない状況です。</p> <p>市としても、引き続き交付金措置を継続していただけるよう国に要望を行っております。</p> <p>仮に交付金措置が終了してしまったことも想定し、孤独対策等の別な交付金を活用することで、生活支援相談員という形ではなくとも、地域住民のコミュニティの中で相談を受けてくださるような共通点の多い事業を続けていきたいと考えております。</p>	福祉課
3	<p>物価高騰対策について、現在国ではおこめ券の発行等、様々調整しているようである。</p> <p>物価の高騰に歯止めがきかない状況下で、市として何かしら考えていることはあるか。</p>	<p>国から物価高騰対策に係る交付金等の支援措置を受けられる予定です。</p> <p>その交付金の活用について、給付形式とするのか別の方法とするのか具体的な検討は必要ですが、補正予算等と併せて何かしらの形により市民の皆様へお渡ししたいと考えております。</p>	総務課 財政課
4	<p>人口減少対策について、当市に限らず高齢な方の亡くなる割合が高く、出生数を大幅に上回っていることから人口減少が加速している状況にある。</p> <p>その対策について市では具体的に取り組んでいることはあるか。</p>	<p>ご指摘の通り、市の人口は年々減少傾向にあり人口減少対策として様々な施策を展開しているところであるが、目に見える結果はまだ出ておりません。</p> <p>1つの施策によって人口減少を食い止めるのではなく、結婚支援や出産支援、子育て環境の整備や教育分野への注力、医療福祉制度の充実化等、様々な分野における施策を結びつけ、現在策定中である第3期陸前高田市総合戦略を軸として、地域の皆様と知恵を出し合いながら取り組んで参ります。</p>	企画政策課
5	<p>黒崎神社周辺の松くい虫被害について、松くい虫被害により道路や電線にかかりそうな木やトレイルロードに影響がありそうな木がいくつか見受けられる。</p> <p>市で具体的な対策など講じているか。</p>	<p>広田地区に限らず、松くい虫被害についての報告を各地区で伺っています。</p> <p>ご指摘いただいた箇所については面積が広く、一度に処理することが難しい状況にあるため、緊急度と優先度を踏まえて、道路等に影響がある部分については順次対応させていただきます。</p>	農林課
6	<p>津波注意報及び警報時の避難場所について、つい先日発令された津波注意報の際に感じたことだが、津波注意報時は広田地区コミュニティセンターと体育館に避難し、津波警報となると広田保育園または野外活動センターに避難する必要があることから、最初から広田保育園等に避難させるなど、もっと簡単に分かりやすい避難方法とすることはできないか。</p>	<p>広田地区においては防潮堤がほぼ完成しているため、水門も整備されていることから、津波注意報が発令された際に避難が必要となるのは、防潮堤よりも海側にいらっしゃる方となります。</p> <p>基本的に、防潮堤よりも海側にお住まいの方はいらっしゃるらないので、主に海釣りをされている方や浜作業をされている方が対象です。</p> <p>しかし、津波警報が発令された際には、診療所等も含めて広田地区コミュニティセンターは避難が必要な区域となるため、更なる上の保育園等に避難していただく必要があります。</p> <p>もちろん、お仕事等の都合により最初から指定避難所へ向かうこともできない方もいらっしゃるため、市で定めている指定緊急避難場所等もご活用ください。</p> <p>引き続き、広報等を通して、周知の徹底に努めて参ります。</p>	防災課

No.		追加要望等	市の回答	担当課
7		<p>やはり、津波注意報時と警報時の避難場所の違いについてわかりにくく感じる。</p> <p>最初から保育園を避難場所にしてはどうか。</p> <p>診療所で働いているが、やはり避難者の誘導に時間がかかる。</p> <p>一度広田地区コミュニティセンターに避難して、そこからさらに保育園に避難してとなると足腰が不自由な方にとって負担である。</p> <p>誘導する我々も命がけで行っているため、施設がどうこうではなく、命を守るために最初から分かりやすい避難指示を出してほしい。</p>	<p>いただいた意見を参考として、地域の皆様と話し合いながら検討を進めて参ります。</p>	防災課
9		<p>美術館構想について、小友町の杉の家はこねが市の美術館構想の予定地となったそうだが、どういった経緯によるものなのか。</p>	<p>昨年度、美術品に対して造詣の深い方々にお集まりいただき、検討委員会を立ち上げて杉の家はこね、旧米崎中学校、旧気仙小学校の市内3箇所の候補地を視察いただきました。</p> <p>市の美術館として、どこがふさわしいのかという見地の下、ロケーション等の総合的な観点から杉の家はこねが最も美術館にふさわしいというご意見を踏まえて、具体的な施設の改修費用等を積算した結果、かなりの予算を要することが分かったため、委員の皆様へ報告し、改めて検討を進めている状況です。</p> <p>今後の見通しについては、お時間をいただきたいと考えております。</p>	教育総務課